



国立国会図書館国際子ども図書館に 「児童書ギャラリー」、「調べものの部屋」が開室します

国立国会図書館国際子ども図書館に、2月2日（火）に「児童書ギャラリー」と「調べものの部屋」が開室します。

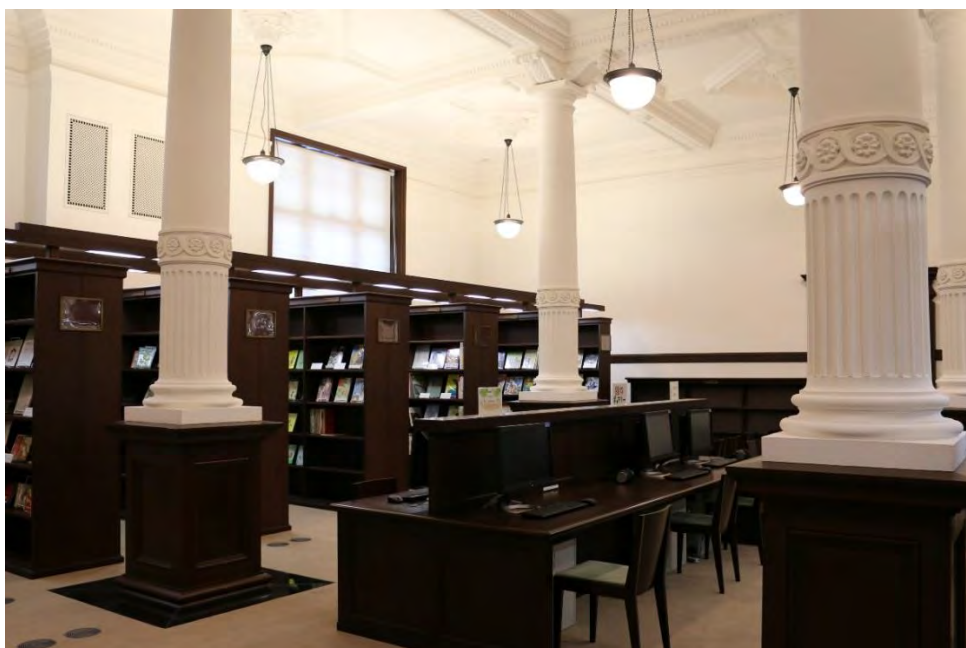
◆児童書ギャラリー

明治から現代までの日本の子どもの本の歩みをたどる常設の展示室です。

平成23年2月19日（土）から平成27年10月31日（土）まで国際子ども図書館で開催した展示会「日本の子どもの文学—国際子ども図書館所蔵資料で見る歩み」で紹介した児童文学史を再構成し、絵本史も充実させました。児童文学史、絵本史のほか、作家・画家コーナー（初回は赤羽末吉）、教科書掲載作品を紹介するコーナーや研究書のコーナーも設けます。展示する約1,000冊の資料は、直接手に取って読むことができます。

また、児童書ギャラリー内の専用端末からは、国立国会図書館デジタルコレクション (<http://dl.ndl.go.jp/>) のほか、「絵本ギャラリー」やホームページ (<http://www.kodomo.go.jp/>) で提供中の「電子展示会」もご覧になれます。

子どもたちによりよい本を届けようと積み重ねられた歩みを、どうぞゆっくりお楽しみください。



◆調べものの部屋



中高生の調べものに特化した資料約 1 万冊を開架した部屋で、どなたでもご利用いただけます。

また、4 月から調べもの体験プログラム（事前予約制、2 月から予約開始）も提供します。

調べもの体験プログラムは、「調べものの部屋」の資料や端末を利用して、「図書館における調べもの」を体験できる、中高生向けのプログラムです。参加者がワークやクイズに取り組みながら、“図書館における調べもの”を、様々な形で実体験します。修学旅行や校外学習といった機会にご利用いただけるよう、中学生向けに 3 コース、高校生向けに 3 コース、全 6 種類のバラエティに富んだプログラムをご用意しております。

○コース紹介

【中学生向けプログラム】

- A. 「調べもの対戦」コース
- B. 「調べものクイズ」コース
- C. 「ストーリー創作」コース

【高校生向けプログラム】

- D. 「文献探索」コース
- E. 「部活に活用」コース
- F. 「POP 広告」コース

詳しくは下記のページをご覧ください。

○見学・体験（中高生向け）

<http://www.kodomo.go.jp/use/tour/youth.html>（2 月 2 日より公開）

報道機関の方のお問合せ先…

国立国会図書館国際子ども図書館 企画協力課広報係 電話：03-3827-2041（直通）

※報道に際して国立国会図書館国際子ども図書館の名称を表記する場合は「国際子ども図書館」のように略さずに「国立国会図書館国際子ども図書館」と表記していただくよう、お願い申し上げます。